

2学期スタート！

学校生活ではできない貴重な体験を重ね、たくさんの楽しい思い出ができた夏休みが終わり、84日間の2学期が始まりました。始業式では、全国各地で発生した大雨や洪水を見舞いつつ、全校児童116名がそろい、元気いっぱいの笑顔で挨拶を交わすことができたことに幸せを感じる旨を話しました。冷涼であるはずのここ浜頓別においても、例年にない残暑を感じたり、南国のような降雨があったりと気候の変動を感じます。引き続き子どもたちのように目を配り、安全な学校づくりに尽力してまいります。



校長 佐藤 秀人

さて、玄関前ホールに展示された、夏休み中に製作した自由研究や工作などの作品を見せてもらいました。なるほど、両手いっぱいの荷物を大切に抱える子どもたちの気持ちがわかります。どの作品も力作ばかりです。作品はバラエティに富み、子どもたちの創意工夫が感じられます。いえ、子どもたちの創意工夫ばかりではありません。ご家庭の皆様の熱意や努力を感じさせる作品も数多く展示されていました。ある学校では、長期休業中の自由研究や工作の出品は自由となり、展示作品も年々減少しているそうです。「どんな自由研究をしたいの?」「こんなことなら手伝えるよ。」「何を作ろうか。」など、お子さんと相談をしながら、親子の貴重な時間を過ごすのも自由研究や工作の醍醐味かもしれません。子育て期間は大変ではあるものの、振り返ってみると、あっという間の期間です。保護者の皆様が周囲の手を借りながらも、小学生である子どもたちとの貴重な時間を満喫できることを願っています。

1学期末、保護者の皆様には、本校の教育活動に関するアンケートにご協力いただきました。いただいたご意見を参考に、今後も浜頓別小学校の教育活動に改善を重ねてまいります。この場をお借りし、お礼申し上げます。ありがとうございました。



- 1日(月) 稚内開建浜頓別除雪車公開(2年) 5・6年水泳
- 4日(木) 6年修学旅行①
- 5日(金) 6年修学旅行② 2年PTAレク
稚内開建浜頓別除雪車公開(2年)
- 6日(土) 1年PTAレク
- 7日(日) 3年PTAレク
- 8日(月) 全校朝会 町P連役員会
- 11日(木) 今野スクールカウンセラー来校

- 12日(金) PTA役員会
- 15日(月) 敬老の日
- 16日(火) 学芸会特別日課 全校朝会
- 18日(木) PTA運営委員会
- 19日(金) 前期終了 5年トヨタ自動車オンライン授業
- 25日(木) 学校運営協議会



前期学校評価アンケートより

～お忙しい中、ご協力ありがとうございました～

※3.5以上高評価(赤)、3未満低評価(青)

I, 学力・体力・心について

1	児童	進んで挨拶をしていますか。	3.4
	教職員	子ども達は進んで挨拶をしている。	2.7
自分から進んで挨拶をできないという実態があります。生徒指導Gを中心に、相手の挨拶に返すことができる。自分から進んで挨拶をすることができるようになる挨拶day等の取組を検討中です。ご家庭でも、「おはよう」「いただきます」「ごちそうさま」「おやすみなさい」「行きます」「ただいま」「こんにちは」を大人自らが見せてあげながら取り組んでみてください。			
2	児童	友達と助け合うことができますか。	3.3
	保護者	「徳」の教育目標「思いやりのある子」の取組の成果がある。	3.3
	教職員	「徳」の教育目標「思いやりのある子」が育っている。	3.0
	児童	あきらめずに挑戦することができますか。	3.3
3	保護者	「体」の教育目標「ねばり強くやりぬく子」の取組の成果がある。	3.3
	教職員	「体」の教育目標「ねばり強くやりぬく子」が育っている。	2.9
学習のときなどに、途中であきらめてしまう子がいるようです。教務Gでは、こんな教育活動をすれば粘り強さが身につくということで、NRTアシストシートの取組、(6番でくわしく説明します。)、指導Gでは、友達同士の関係づくりや規則正しい生活づくりからの頑張れる体と心のための目標設定の工夫、保体Gでは、粘り強さを培う体育の授業や体力づくりのための児童に考えさせる教師の指導やサポートを考えているところです。			
4	教職員	体力向上プランや新体カテストの評価をもとに、組織的な体力づくりにより、児童の体力が向上している。	3.0
5	児童	学校は楽しいですか。	3.4
	保護者	我が子は、楽しく学校に通っている。	3.3
	教職員	子ども達は楽しく学校生活を送っている。	3.5
	□日頃よりご指導いただきありがとうございます。おかげで楽しく通学させていただいています。今後ともよろしく願います。(保護者より) この設問と、学習がわかるという設問は、学校にとっての1丁目1番地です。そこがある程度高いというのは、学校としても今までの指導に自信をもって取り組みます。児童・保護者ともに、3.5以上になることを目指し、また、ちょっと回答が少なかった保護者アンケートが増えるように、これからも学校全体で努力していきます。		

はまもんべつ先生
6年 教えて！



6	児童	自分には良いところはありますか。	2. 7
	自分の学習や生活を振り返ってしっかり反省をしているからこそ、この結果なのかもしれませんが、「こんなことを頑張れた。自分はこんなことができる。」ともっと自信をもっても良いかと思えます。教務 G では学習活動の中で、NRT アシストシート（NRT の結果から各学年の苦手な内容を繰り返し、友達とも相談しながら取り組む。）の取組を、環境文化 G では、各教科で作った作品を全校で交流して認め合う場作りを、学び研修 G では、授業の中で良い考えや意見を教師や友達が受け止め評価すること、グループ交流を活用して友達同士認め合う取組を先生方で授業を見合って勉強し合う研究授業を通して取り組むことを考えています。保体 G では、体育の指導や体力づくりの中で、子どもが自信を持てるための目標の振り返りや頑張りを認め合う活動など考えています。様々な取組や指導法を検討して、自信をもてる活動をし、自信をもてる認め合いの取組を全校でしていきます。		
7	児童	いじめは絶対にはいけないこととわかっていますか。	3. 8
	1学期のいじめアンケートでは、いじわるをされた子にしっかり担任の先生が話を聞き、いじわるをしている子に事実の有無を確認した上で、しっかり反省してもらおうという取組を全学級で行いました。また、暴力的なことや継続的にいじわるをしていること、仲間はずれ的なことについては、指導と同時に、同じことを2度としないように長期的なスパン（3ヶ月をめど）で満ち確認していくことを全校的に取り組んでいます。指導をやりきることで、子ども達に、「いじめは絶対にはいけない」という気持ちをより高めることができたのはうれしい限りです。また、ご家庭でも友達との関係づくりについて折に触れて話されていることと思います。ありがとうございます。		
8	教職員	いじめ・不登校・体罰の未然防止等に関する危機管理意識が高まっている。	3. 7
9		個別面談やアンケートによる児童理解を深め、きめ細かな生徒指導を行っている。	3. 8
10		児童の実践交流が随時行われ、組織的指導体制や校外との連携が迅速に行われている。	3. 8
11		教育活動全般にわたって、子ども達の安全確保に努めている。	3. 5
12		不審者対策や登下校の安全、熊出没時の対応など、防犯・安全体制が確立されている。	3. 7
13		各種調査結果等や教育活動の実践をもとに教育活動の改善が図られている。	3. 3
14		教職員の服務規程違反を防止するための研修や情報提供が行われている。	3. 7
15	働き方の問題を自分事ととらえ、my 定時退勤や no 残業 day などにより、自身の働き方を見直している。	3. 2	



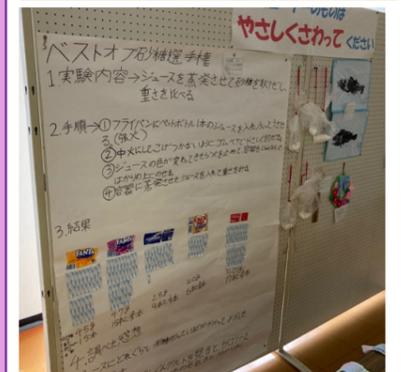
3年
金融教育
より

1	児童	授業は楽しいですか。	3. 2
2		国語の授業はよくわかりますか。	3. 3
3		算数の授業はよくわかりますか。	3. 2
4		理科の授業はよくわかりますか。	3. 3
5	教職員	授業改善の検証が組織的に進められている。	3. 3
6		全教育活動を通して、各学年の道徳重点目標の実現に向けた指導が行われている。	3. 1
7		学級活動を通して、コミュニケーション能力や社会情緒能力が向上している。	3. 1
8		児童会活動を通して、自治的能力や自主性が向上している。	3. 1
9		学校行事を通して、自治的能力や自主性が向上している。	3. 5
10		特別な支援を要する児童の実態の共有と、組織的な支援体制が確立されている。	3. 3
11		特別支援教育を充実させるため、校外との連携や支援体制が確立されている。	3. 2

ところで… OOG(グループ)って何ですか？

浜小の重点的な取組、課題に向けての取組の説明でOOGと記載しました。これは、校務分掌と言い、担任の先生だけがその学年だけで取り組むのではなく、大事なことは、全校一斉に取り組もう！ そのためのアイデアは、先生方が分担して出し合おう！ という組織で、グループごとにリーダーの先生を中心にしながら子ども達のための様々な教育活動を考えています。具体的には下記の通りです。一番名前が先頭の先生がリーダーです。

- ・教務 G (授業を中心とした教育活動全般を考えます。)
長江先生、山田先生、野露先生
- ・環境文化 G (読書・絵画・工作・作文等の文化的な取組、学芸会、卒業式、入学式などの行事の中身を考えます。)
石松先生、菅野先生、武市先生
- ・学び研修 G (授業の進め方や学力づくりを考えます。)
土谷先生、堀田先生、大柳先生
- ・生徒指導 G (安心・安全な校内生活、校外生活、学級活動を中心とした仲間作りを考えます。)
三浦先生、柳田先生、工藤先生、丹治先生
- ・保健体育 G (健康のこと、給食のこと、運動会などの体育的行事、体力づくりについて考えます。)
近藤先生、小杉先生、大道先生
- ・庶務経理 G (学校の施設・備品・教材・経理のことを考えます)
島田さん、渡邊さん、茂木さん



子ども達の夏休みの大作です！

12	児童	授業では先生や友達の話をよく聞き、低…発表したりしていますか。中高…自分の考えを発表したり、説明したりしていますか。	3. 1
	保護者	今年度の重点目標『元気いっぱい笑顔で生き生き』の子どもの育成や合い言葉「ちゃんと聞く、ちゃんと話す」が伝わっている。	3. 2
	教職員	合い言葉「ちゃんと聞く、ちゃんと話す」子が育っている。	2. 9
<p>「ちゃんと聞く、ちゃんと話す」とは？</p> <p>□学校経営方針より ①指示や説明をよく聞き、②自分なりに考え、③自分の考えをしっかりと話す。それらの力を高めること、そのための指導を大切にすること。</p> <p>□くわしい努力目標（学び研修G作成）</p> <p>■ちゃんと聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2年…相手の方に体を向けてうなずきながら、大事なことを落とさないように聞くことができる。 ・3・4年…相手を見て、相づちを打ちながら、話の中心に気をつけて聞き、質問をしたり感想を述べたりすることができる。 ・5・6年…相手を見て、話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして聞くことができる。 <p>■ちゃんと話す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2年…相手の方に体を向けて、姿勢や口形、声の大きさや言葉遣いに気をつけて話すことができる。 ・3・4年…相手を見たり、聞き取りやすい速さで、言葉の抑揚や強弱、間の取り方に注意し、言葉遣いに気をつけて話すことができる。 ・5・6年…聞き手を見ながら、目的や意図に応じ、事柄がつながるように表現を工夫しながら、相手や場に応じた言葉遣いで話すことができる。 <p>上記の力をしっかりと見つけることにより、学力、友達と関わる力、自立・自律する力がつき、子ども達の自信も高めることができると浜小では考えています。（今年度の最重点目標です。）</p> <p>教務Gでは、10・11月にある国語の「話す・聞く」単元で、子ども達に関心・意欲をもたせながら、しっかり身につけていこうと考えています。環境文化Gでは、読書タイムを使って、子ども達のブックトーク、授業を使ってお話の要約の取組、学び研修Gでは、子ども達が力をつけていくために、ちゃんと聞き、話すことのできる教師の話し方の改善を考えています。生徒指導Gでは、縦割りの場面で、子ども同士で話を聞き合い、意見を出し合える場の設定と、その時のルールを考えています。全校一斉の工夫した取組で、「ちゃんと聞く、ちゃんと話す」力を高めていきます。</p>			
13	児童	ペアやグループ学習で、自分の考えを広めたり深めたり、確かめたりしていますか。	2. 8
	保護者	「知」の教育目標「考えを深め合う子」の取組の成果がある。	3. 1
	<p>「ちゃんと聞き」「ちゃんと聞く」力を高めていくためには、グループで友達の話の聞いたり、友達に話したりしながら深め合ったり、確かめ合ったりしていく取組が重要になります。環境文化Gでは、アウトプット（自分の意見をみんなに話すこと）を重視する取組を考えていきます。学び研修Gでは、授業の中で先生方が子ども達の意見に対して、「どう思う」「どうして？」と聞いて話を広げていく取組の提起を考えています。保健体育Gでは、縦割り会議の中で、色々な児童が自分の考えを言える場面を設定する取組を考えています。</p>		

14	児童	タブレットを、低…使った学習は楽しいですか。中・高…学習に役立っていますか。	3. 6
	保護者	学校は、ICTを活用するなど授業改善を続け、わかる・楽しい授業づくりに努めている。	3. 3
	教職員	ICTの活用により授業改善や校務DXが図られている。	3. 0
<p>児童にとっては、一人一台端末の授業は、楽しく便利に学ぶことができているようです。浜小の先生方が授業にたくさん生かしたり、学び研修Gが中心となって、タブレットを使った授業の学び合いをしている成果が出ています。</p>			
15	保護者	学校は、地域の力（人材・施設・環境など）を生かした教育活動を進めている。	3. 3
	教職員	浜頓別の教育資源を生かした教育活動の充実・改善が進んでいる。	3. 7
	<p>地域学校協働本部と教育委員会の方々のおかげで教室で座って学ぶだけでなく、浜頓別の特色を生かした外に出ての学びや、地域の方が先生になって関わっている人だからこそ知っていることを学ぶことがたくさんできています。浜小の子ども達を大切にしてください地域の方には本当に感謝です。</p>		

Ⅲ、家での生活について

1	児童	朝ご飯を毎日食べていますか。	3. 6
	子ども達が毎日元気に学校に通うことができるのは、保護者の方々のおかげです。毎日ありがとうございます。		
2	児童	体を動かすことは好きですか。	3. 4
3	児童	家庭学習や宿題に取り組み、30分（1・2年）、40分（3年）、50分（4年）、60分（5年）、70分（6年）勉強していますか。	2. 9
	保護者	我が子は、学年の目安時間の家庭学習（宿題を含む）をしている。	3. 1
		我が子が、学年の目安時間の家庭学習（宿題を含む）するよう働きかけている。	3. 1
<p>□年度当初発行の家庭学習の手引きから</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に必要な学習を、自分で選んだり、考えたりしてできるようになるために家庭学習をします。 ・自分で考えたり、調べたりする力をつけるために家庭学習をします。 <p>■ポイント</p> <p>①時間を決める。 ②日付と課題、まとめを書く。 ③集中できる場所でやる。</p> <p>学び研修Gでは、もう一度これを大切に、「家庭学習＝宿題＋自主学習」とし、学年に応じた取組の継続を考えています。ご家庭でも、「家庭学習の手引き」をぜひ見直してみてください。もしなくした場合は、再発行します。学校までご連絡ください。また、HPにもアップしてあります。また、学び研修Gでは、各学年の家庭学習を交流するために、年2回の家庭学習交流週間にも取り組んでいます。その期間は、家庭学習ノートも校内に掲示していますので、ぜひご覧になって我が子の取組の参考にしてください。</p>			

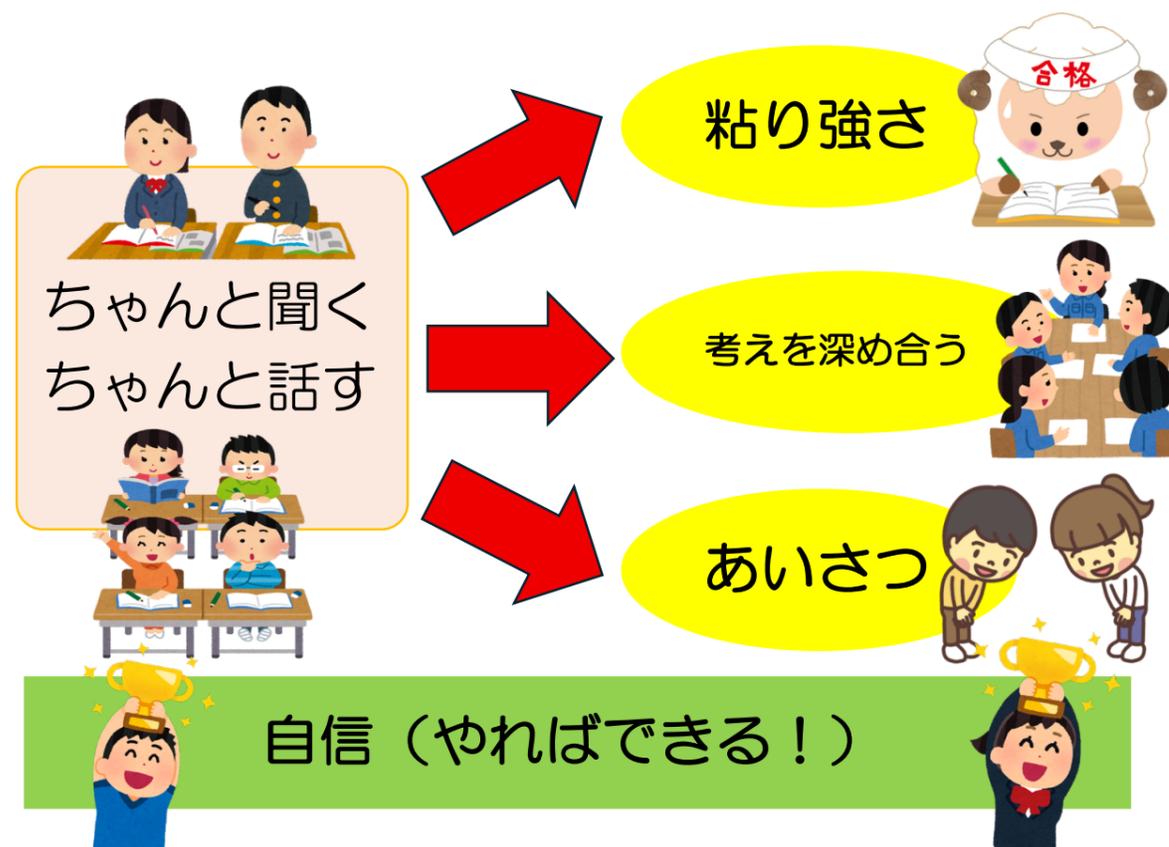
4	児童	家で読書をしていますか。	2. 4
	環境文化 G では、学校で読書を好きにする方法として、音読の強化により、すらすら文章を読める力を高める取組を考えています。そのことを基盤に、良い本との出会いを大切にするために委員会や先生からおすすめの本紹介や、ピブリアバトルを子ども同士で行うなどの取組を考えています。ご家庭でも、親子共々本が好きになるような取組をぜひお願いします。		
5	児童	普段の日のゲーム・インターネット・YouTube・SNSなどの時間（0～1時間4、1～2時間3、2～3時間2、3時間以上1）	2. 7
	保護者	我が子のメディア使用（ゲームや SNS など）の時間は適切である。	2. 7
	保護者	我が子のメディア使用（ゲームや SNS など）の時間が適切になるように働きかけている。	3. 2
生徒指導 G では、メディアコントロール day（一月に1日、メディアを離れ、違うことをする日）を設定したり、メディアチェックカードに月1回取り組んだり、保護者の理解を高める研修したりする取組を考えています。ご家庭では、子ども達に声かけをしていただいているところが多いようです。ありがとうございます。ひきつづき、ご家庭での指導もお願いします。			
6	児童	交通ルールや約束を守って安全に過ごしていますか。	3. 7
	保護者	学校は、教育活動全般にわたって、子ども達の「安全確保」に努めている。	3. 5
学校では、担任の先生だけでなく、複数の先生方の目で子ども達の安全確保に取り組んでいます。また、児童の安全を守るために、ご家庭での声かけもありがとうございます。学校、家庭の一致した取組で子ども達の安全が守られています。			
7	教職員	学校経営方針や教育活動の様子は、保護者・地域に伝わっている。	3. 3
8		園・小・中の連携が計画的に行われ、交流に効果が現れている。	3. 3

まとめ

お忙しい中アンケートへのご協力ありがとうございました。児童・保護者・教職員の楽しい学校に向けて、誰一人取り残さず成長する学校に向けての様々な意見を生かし、今後に生かしていきたいと考えています。

- 1学期の先生方の取組と、家庭・地域のご協力のおかげで、浜小の子ども達は、いじめはいけないことと理解し、善悪のけじめを少しずつ身につけ、地域のカも借りながら、安心安全に学校で過ごすことができている。行事を通して、集団での協力の力も伸びています。
- 課題は、家庭においては、メディアの時間が長く、家庭学習習慣、読書習慣が身につけていない子が多く、保護者の皆様も苦慮している様子もうかがえます。家庭での取り組み方も含め、学校から発信しながら、保護者の皆様の悩みに少しずつでも答えていければと考えています。
- 大きな課題は、学校の重点目標、「ちゃんと聞く」「ちゃんと話す」の力が育っていないことです。そこから、「粘り強さ」「考えの深め合い」「自分から自信をもって挨拶する」力が育っていないことが類推されます。そしてそのため、子ども達は自分に自信をもつことができず、1日の中で子ども達が1番多くの時間を過ごす教科や授業の時間を通して、全校的にまだまだ取り組めることがあります。

先生方みんなの知恵を出し合いながら、取組を考えていきます。また、学校の取組について、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。



教えて！

はまとんべつ先生

町のPR動画の企画で、札幌の芸能事務所オフィスキューと所属のオクラホマの藤尾仁志さん（湖水まつりでおなじみです）が浜小に来校し、6年生とYouTube動画を撮影しました。子ども達に浜頓別で「こんなに頑張れることがあるよ」と、たくさんの浜頓別で活躍されている方から伝えていただきました。杉山さんからは酪農のことを、イエボンさんからは浜頓別のおいしい店のことを、千田さんからはクッチャロ湖の魅力や白鳥の取組を、長谷川さんからは浜頓別のホタテのことを教えていただきました。ビーフジャーキーや、ホタテも食べさせていただきながらたくさんの魅力を知ることができました。最後はお話を聞いて興味を持ったことをポスターで表し、発表し合いました。

劇団四季稚内公演

「こころの劇場」

4年生、5年生、6年生で、劇団四季ミュージカル「ふたりのロッセ」を稚内まで観に行きました。離れ離れに暮らしていた双子の姉妹が、力を合わせて困難に立ち向かい、家族の絆を取り戻そうとする物語です。普段なかなか見ることのできなミュージカルを観て、心温まる体験をしてきました。これから学芸会もあります。感じたことを自分たちの表現にも生かしてくれればと思います。



お祭りに参加した子ども達の勇姿です！